

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投資／海外／株式
信託期間	無期限（2006年11月8日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所に上場されているインフラ関連株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」（米ドル建て）の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li><li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li><li>・株式への直接投資は行いません。</li></ul>
分配方針	毎決算時（毎年5月20日および11月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

## 運用報告書（全体版）

# イーストスプリング・ インド・インフラ株式ファンド

第34期（決算日 2023年11月20日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配)	標準価額			騰落率	投資信託 組入比	純資産 総額
		税金	込	み			
	円	分	配	金	%	%	百万円
30期(2021年11月22日)	13,572			800	27.4	97.2	25,707
31期(2022年5月20日)	13,100			0	△ 3.5	94.3	24,433
32期(2022年11月21日)	14,054			1,000	14.9	97.4	25,137
33期(2023年5月22日)	13,597			0	△ 3.3	97.7	25,867
34期(2023年11月20日)	15,976			1,000	24.9	96.7	33,329

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

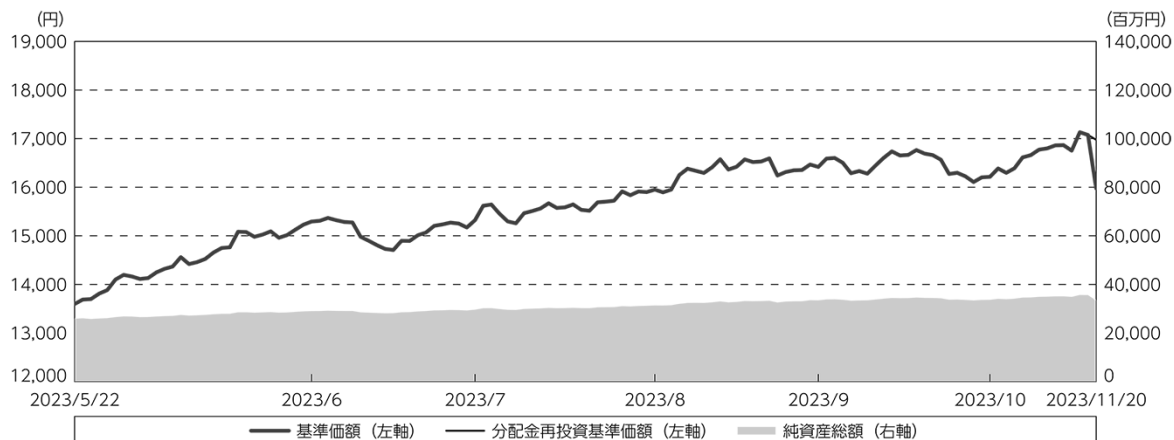
(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## ○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準価額	標準価額		騰落率	投資信託 組入比	託券率
		騰	落			
	円			%	%	%
(期首) 2023年5月22日	13,597			—		97.7
5月末	14,164			4.2		97.1
6月末	15,294			12.5		97.3
7月末	15,323			12.7		97.4
8月末	15,951			17.3		97.2
9月末	16,418			20.7		97.5
10月末	16,214			19.2		97.7
(期末) 2023年11月20日	16,976			24.9		96.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

## 基準価額等の推移について



期首：13,597円

期末：15,976円 (既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率：24.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年5月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

## (上昇要因)

- ・保有株式が上昇したこと。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

## 投資環境について

### インド株式市場

インド国内のインフレがピークアウトを示したことやインド企業の業績が好調であったことなどが好感され株価は期初から2023年7月後半にかけて上昇基調で推移しました。8月には米国長期金利の上昇を受けて米国株の調整がみられインド株式市場も調整しましたが、その後は好調な経済活動を示唆するマクロ統計の発表などを背景に9月中旬にかけて反発し史上最高値を更新しました。しかし、10月には米国で長期金利が急上昇したことなどから外国人投資家による利食い売りに押され、インド株式市場も10月後半にかけて下落しました。その後期末にかけては好調な7-9月期の企業決算などを受け反発しました。

### 為替市場

インドルピーは、インフレが落ち着きを示す中、期中を通じて概ね1米ドル81~83ルピー台のレンジ内での取引となりました。円は期中に日銀がイールドカーブ・コントロールの柔軟化を行ったものの、マイナス金利の解除は実施されなかったことから日米金利差は拡大したままとなり、円が主要通貨に対し、下落基調をたどったため、インドルピーは対円で上昇しました。

### 国内債券市場

国内債券市場は、2023年7月末の金融政策決定会合でイールドカーブ・コントロール政策が柔軟化されたことから、10年国債利回りは上昇基調をたどりました。また、米国の長期金利が10月末にかけて5.0%近辺まで上昇する中、日本の10年国債金利も連れて上昇し、0.9%を超えました。その後期末にかけては、米国長期金利の低下を受け、日本の10年国債金利も0.7%台に低下しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

インフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

当期は、旺盛なインド国内および湾岸諸国からの受注を受け、好調な企業収益見通しを好感され株価が上昇したラーセン・アンド・トゥブローの保有などがプラス要因となる一方、クレジットカードの急激な加入者増を受け、延滞率の上昇などから収益悪化懸念が台頭し株価が下落したSBIカーズ&ペイメント・サービスの保有などがマイナス要因となりました。

### イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第34期
	2023年5月23日～ 2023年11月20日
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	5.891%
当期の収益	999
当期の収益以外	0
翌期繰越分配対象額	6,492

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針について

#### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるインド・インフラストラクチャー・エクイティ・オープンの組入比率を高めに保つことを基本とします。

#### インド・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

インド株式市場は、中央銀行が政策金利を据え置中、発表された2023年7-9月期の企業決算が概ね好調であったものの、中東情勢の緊迫化や米国長期金利の上昇を受け、高値からやや調整しました。しかし、来年(2024年)の総選挙を控え、政府による財政支出への期待などから今後の市場見通しについてはポジティブな見方が優勢となっています。

政府はインフラプロジェクトへの投資資金を中期的に安定して確保するため、インフラ資産の証券化などによる売却を進めようとしています。政府は高い経済成長を維持するためにはインフラの整備が不可欠としており、インフラ関連銘柄は中期的に魅力的な投資先であると考えます。今後のインド株式市場は、インフレ動向、企業収益の動向、金融・財政政策の動向などに引き続き影響を受けると考えます。インド政府は、同国経済における国内製造業の割合を高めるために、「生産運動型インセンティブ (PLI)」制度や防衛・電子部門向けの段階的な製造プログラムを発表し、「メイク・イン・インド」政策に力を入れています。当ファンドは強固なバランスシート、俊敏な経営陣、持続性のあるビジネスモデルを有する企業の株式を選好し投資を行ってまいります。

#### イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年5月23日～2023年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	104	0.671	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 43 )	(0.273)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 60 )	(0.383)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	( 0 )	(0.003)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（ そ の 他 1 ）	( 0 )	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	105	0.676	
期中の平均基準価額は、15,560円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

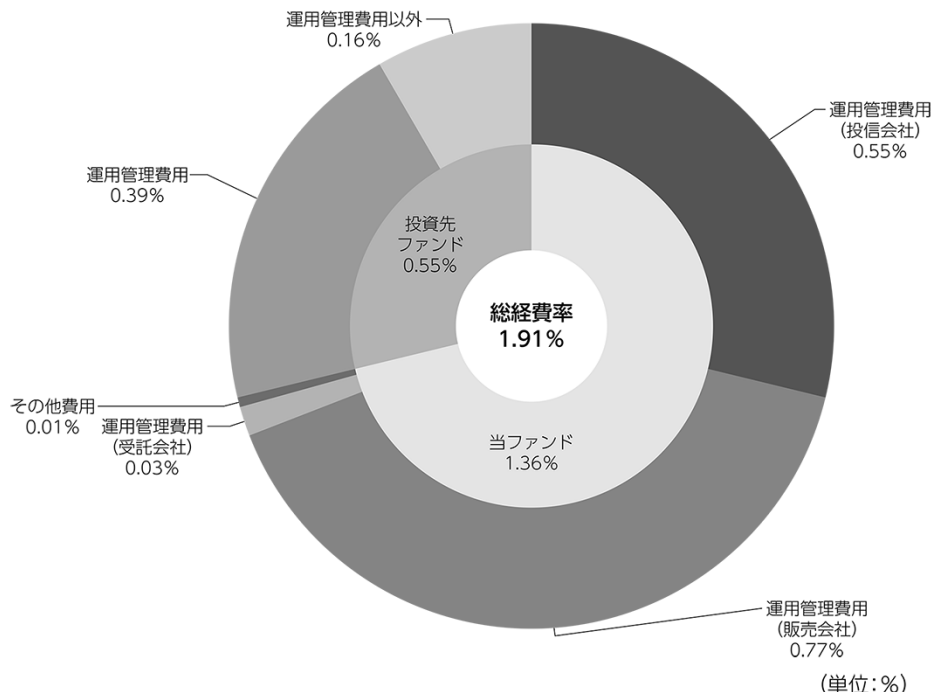
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



総経費率(①+②+③)	1.91
①当ファンドの費用の比率	1.36
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2023年5月23日～2023年11月20日)

### 投資信託証券

銘 柄			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	米 ド ル 建 モーリシャス籍	728	21,100	679	19,500	
			千口	千米ドル	千口	千米ドル

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年5月23日～2023年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年11月20日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)		99,168	99,168	104,781	0.3
合 計		99,168	99,168	104,781	0.3

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)		当 期 末		比 率
		口 数	口 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		千口	千口	千米ドル	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・ インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド		7,016	7,064	214,238	32,125,065	96.4
合 計		7,016	7,064	214,238	32,125,065	96.4

(注) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

## ○投資信託財産の構成

(2023年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	104,781	0.3
投資証券	32,125,065	89.8
コール・ローン等、その他	3,524,657	9.9
投資信託財産総額	35,754,503	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 外貨建純資産(32,125,065千円)の投資信託財産総額(35,754,503千円)に対する比率は89.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年11月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=149.95円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	35,754,503,535
コール・ローン等	3,524,656,833
投資信託受益証券(評価額)	104,781,197
投資証券(評価額)	32,125,065,505
(B) 負債	2,425,271,283
未払収益分配金	2,086,236,818
未払解約金	130,190,746
未払信託報酬	207,244,453
未払利息	10,332
その他未払費用	1,588,934
(C) 純資産総額(A-B)	33,329,232,252
元本	20,862,368,183
次期繰越損益金	12,466,864,069
(D) 受益権総口数	20,862,368,183口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,976円

(注) 元本の状況

期首元本額 19,024,820,108円

期中追加設定元本額 3,238,574,396円

期中一部解約元本額 1,401,026,321円

(注) 1口当たり純資産額は1,5976円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## ○損益の状況 (2023年5月23日～2023年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 494,028
支払利息	△ 494,028
(B) 有価証券売買損益	6,565,495,523
売買益	6,711,873,193
売買損	△ 146,377,670
(C) 信託報酬等	△ 208,905,656
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,356,095,839
(E) 前期繰越損益金	4,840,586,786
(F) 追加信託差損益金	3,356,418,262
(配当等相当額)	( 4,434,689,904)
(売買損益相当額)	(△ 1,078,271,642)
(G) 計(D+E+F)	14,553,100,887
(H) 収益分配金	△ 2,086,236,818
次期繰越損益金(G+H)	12,466,864,069
追加信託差損益金	3,356,418,262
(配当等相当額)	( 4,434,689,904)
(売買損益相当額)	(△ 1,078,271,642)
分配準備積立金	9,110,939,835
繰越損益金	△ 494,028

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(5,644,037,417円)、信託約款に規定する収益調整金(4,434,689,904円)および分配準備積立金(5,553,139,236円)より分配対象収益は15,631,866,557円(10,000口当たり7,492円)であり、うち2,086,236,818円(10,000口当たり2,086円)を分配金額としております。

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	1,000円
----------------	--------

◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

## ○お知らせ

2023年8月22日付でファンドへの投資機会を継続して提供することが受益者の皆様の利益に資すると判断し、信託期間を無期限に変更する約款変更を行いました。

また、同日付で投資対象ファンドにおけるデリバティブの使用目的を、投資の対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスクおよび為替相場の変動リスクを減じる目的に限定することを明確化する約款変更を行いました。なお、かかる変更は、運用の実態に即した記載内容に変更するものであり、実際の運用の基本方針、運用体制等につきましては、一切変更はございません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド	
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	インドのインフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	インドのインフラ関連企業の株式	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	投資顧問会社	ICICI ブルーデンシャル・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド（略称：ICICIAM）※ <sup>1</sup>
	管理会社	Vistra Alternative Investments (Mauritius) Limited
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.40%	
管理報酬	年率0.20%程度	
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料、現地税務代理人費用等がかかります。	
設立日	2006年10月9日	
決算日	毎年8月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス（1-10年債）※ <sup>2</sup>	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※1 ICICIAMは、ICICI銀行と世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルーデンシャル社（以下「最終親会社」）との合弁会社です。

なお、最終親会社およびICICIAMは、主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2022年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

## 純損益及びその他包括利益計算書

2022年8月31日に終了した事業年度

米ドル

### 収益

受取配当金	1,870,869
その他利息	35,450
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損失）	44,142,464
投資有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）	(41,270,145)
外国為替取引に係る未実現純利益（損失）	(29,106)
	<hr/>
	4,749,532
	<hr/>

### 費用

運用報酬	(834,549)
保管銀行費用	(113,248)
管理費用	(61,725)
計算事務費用	(36,478)
銀行手数料	(9,422)
取引手数料	(23,625)
免許登録費用	(5,300)
専門家報酬	(44,094)
監査報酬	(46,391)
その他費用	(6,935)
売買委託手数料	(622,774)
外国為替取引に係る実現純利益（損失）	(435,501)
	<hr/>
	(2,240,042)
	<hr/>

償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額	2,509,490
税金	(1,367,182)
償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額	<hr/>
	1,142,308
	<hr/>

## 投資有価証券明細表

2022年8月31日現在の上場株式

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
ABB India Ltd	65,171	1,890,385	2,667,314	1.34%
Amber Enterprises India Limited	131,304	4,434,727	3,729,888	1.87%
Ashoka Buildcon Ltd	556,285	859,325	561,732	0.28%
Axis Bank Ltd	603,282	4,413,973	5,687,028	2.85%
Bajaj Finance Limited	112,906	6,146,753	10,347,788	5.18%
Bajaj Finserv Limited	15,128	1,545,251	3,218,833	1.61%
Brigade Enterprises Ltd	1,426,034	3,230,107	9,163,214	4.59%
Capacit'e Infraprojects Limited	168,203	458,882	349,089	0.17%
Container Corp Of India Ltd	1,073,781	8,319,680	9,382,185	4.70%
Chalet Hotels Limited	973,023	3,722,469	3,933,864	1.97%
Camlin Fine Services Ltd	443,013	688,264	720,763	0.36%
Delhivery Limited	929,040	5,849,009	6,629,890	3.32%
Dixon Technologies India LTD FV2	86,699	2,425,568	4,462,988	2.24%
DLF Ltd	825,281	3,730,406	4,037,406	2.02%
Easun Reyrolle Limited	1,499,989	2,257,149	47,980	0.02%
GAIL India Ltd	3,676,165	6,538,113	6,276,089	3.14%
Gateway Rail Freight Limited FV10	6,254,864	2,853,074	5,339,271	2.68%
Gei Industrial Systems Limited	872,000	1,227,946	—	0.00%
Gujarat State Petronet Ltd	534,122	1,421,221	1,623,416	0.81%
Grindwell Norton Limited	265,458	2,264,312	7,326,123	3.67%
Hindalco Industries Ltd	830,787	1,599,367	4,574,990	2.29%
ICICI Bank Ltd	1,487,997	9,785,940	16,561,837	8.30%
Indiamart InterMesh	73,755	5,541,841	4,080,101	2.04%
ITD Cementation India Ltd	1,093,105	692,723	1,458,261	0.73%
JK Cement	35,000	1,209,524	1,192,674	0.60%
JSW Steel Limited	394,791	1,849,497	3,302,661	1.65%
Larsen & Toubro Ltd	635,642	9,850,118	15,329,038	7.68%
Mahindra Lifespace Developers Limited	481,239	996,794	3,132,122	1.57%
Motherson Sumi Wiring India Ltd	2,860,118	2,070,748	2,924,001	1.47%
Oberoi Realty Limited	257,222	2,293,597	3,248,694	1.63%
The Phoenix Mills Limited	381,051	3,774,313	6,722,934	3.37%
PNC Infratech Limited	597,035	1,476,939	2,132,926	1.07%
Prince Pipes and Fittings Ltd	472,392	3,873,353	3,479,858	1.74%
Qess Corp Ltd	539,523	4,438,002	3,871,844	1.94%

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
Reliance Industries Ltd	478,382	16,429,507	15,829,871	7.93%
Sadbhav Engineering Ltd	1,017,448	2,670,031	184,423	0.09%
Sandhar Technologies Ltd	187,062	733,283	520,807	0.26%
SBI Life Insurance Co Ltd	171,937	2,670,095	2,866,573	1.44%
State Bank of India	622,473	2,444,442	4,148,159	2.08%
Sona Blw Precision Forgings Ltd	583,670	2,824,489	3,821,852	1.91%
Shree Cement Ltd	13,805	3,837,365	3,822,396	1.92%
Syrma SGS Technology Limited	88,319	309,903	343,164	0.17%
TATA Steel Limited	4,888,230	5,176,296	6,640,734	3.33%
Triveni Turbine Limited	1,184,783	2,495,534	3,045,950	1.53%
UltraTech Cement Ltd	61,463	3,406,584	5,148,569	2.58%
		<u>156,726,899</u>	<u>203,889,300</u>	102.14%
その他資産			(4,310,255)	(2.16)
純資産			<u><u>199,579,045</u></u>	99.98%

「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/2/26 ～2023/2/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.221%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,672円です。
（投信会社）	(15)	(0.144)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.235	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 組入資産の明細

(2023年2月27日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	619,500	643,170	94.1	—	41.2	38.8	14.1	
合計	619,500	643,170	94.1	—	41.2	38.8	14.1	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。



(B) 個別銘柄開示  
 国内（邦貨建）公社債  
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第351回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	49,555	2028/06/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	59,000	58,107	2029/03/20
	第63回 利付国債（20年）	0.1	90,000	87,709	2030/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.8	50,000	50,298	2023/06/20
	第75回 利付国債（20年）	1.9	45,000	45,937	2024/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	20,000	20,875	2025/03/20
	第87回 利付国債（20年）	2.1	38,000	39,858	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	58,660	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	135,000	145,686	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	77,500	86,479	2030/03/20	
合 計			619,500	643,170	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。